

空き店舗等を活用したリノベーションまちづくり等に 支援を行う取組 (兵庫県姫路市)

【支援措置】
社会資本総合整備交付金(都市再生整備計画事業) 国土交通省 [国費率 1/2]

【支援措置対象経費】
100百万円

空き店舗等の遊休不動産を活用したリノベーションまちづくりを推進するため、民間事業者等のノウハウを活用した取り組みを支援し、姫路駅西地区のエリア再生を目指す。かつては卸売市場として200以上の店舗が建ち並びにぎわいのあった地区であるが、現在は空き家・空き店舗等の遊休不動産が増加している。一方で、姫路駅に近いエリアであるにもかかわらず、姫路駅前や姫路駅東の再開発エリアと比較すると地価が安価であることから、若者等が起業にチャレンジしやすい環境であることや、過去のにぎわいが消えつつある現在も、歴史ある建物とノスタルジックな雰囲気が残されていることから、既存建物を活用したリノベーションまちづくりに適しているエリアであると言える。

①リノベーションスクールの開催 (市が実施し民間事業者に委託) ※令和2年度

事業費(見込)は8,000千円(委託費8,000千円)であり、費用の一部(4,000千円)について県の「まちなかりノベーション推進事業」を活用予定である。リノベーションスクールを開催し、地域に必要な人材と公共心のある空き屋物件オーナーを発掘し、スクールで提案された事業プランの実現化に向けた支援を行う。

②リノベーション手法を用いた事業を行う民間事業者等の団体の支援 (民間事業者が実施し市が補助を行う) ※令和3年度～令和6年度

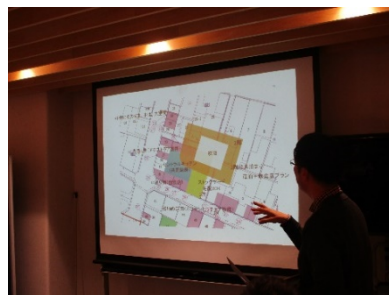
事業費(見込)は8,000千円(2,000千円×4年)であり、遊休不動産を活用した、地域の来街者の増加や認知の向上、地域の活性化やその機運向上に効果がある事業について、内装工事費や広告宣伝費などに係る経費を補助する予定である。本事業により、遊休不動産や後継者不足等の課題解決及び活力とにぎわいのあるエリアの再生を目指す。

事業効果として、①姫路駅周辺及び姫路駅東部が中心となっている「人の流れ」を姫路駅西地区へ広げ回遊性を高めること、②遊休不動産を活用し、新たな付加価値を持つ魅力的な店舗を増やすことにより、エリア価値を高めること、③リノベーションスクールを契機として民間主体によるリノベーションまちづくりが波及的に展開されること、などが期待される。

【計画書の事業名】 リノベーションまちづくりの推進



↑ 地区の現状写真



↑ リノベーションスクールの様子(イメージ)



↑ 位置図